



SDGsの取り組み

今年度、石原小学校では、「石原学・熊谷学・未来学 SDGs × 総合的な学習の時間 学びの改革」をテーマに、熊谷の伝統文化の継承、貧困・難民問題、地球温暖化、食料問題、防災問題等の探究学習により、まちや人とつながり、現状と向き合って考え、未来に向けて実践する石原っ子の育成に取り組みました。その学習成果を発表する「SDGs フェスティバル」を3月4日（水）に開催しました。フェスティバルの様子の一部をご紹介します。



【つくし・なかよし・たんぽぽ】

「つくる責任つかう責任」をテーマに、自分たちで栽培したとうもろこしをポップコーンにしたり、熊谷産の小麦粉からうどんをつくったりしました。作った人のことを考えて、食べたいと感謝の心を学びました。

【1年生】

1年生は「すべての人に笑顔とやさしさを」をテーマにあさがおのおし花メッセージをつくりました。「水を大切にしましょう」「ともだちとなかよくしよう」と心のこもったメッセージがたくさんありました。

【2年生】

2年生は石原学として「住み続けられるまちづくり」をテーマに、実際に石原地区を巡って調べた八坂神社、一番街、鰻の寝床、北条堤、旧中山道、八木橋、松岩時の平和の鐘について、発表をしました。



【3年生】

3年生は熊谷フードである五家宝の歴史について調べ、クイズ形式で発表していました。また、児童が考えた新しい五家宝の味や新商品について発表をしました。伝統を知り、伝統を前進させる、そんな予感を感じさせる発表でした。



【4年生】

4年生は「地球温暖化」からゴミ問題に注目し、資源ごみの分別体験・クイズの発表をしていました。資源ごみの分別体験では、改めて考えると悩んでしまうものもあり、参加者にとって気づきの多い時間となりました。



【5年生】

5年生は食料問題から特に「食品ロス」をテーマに、食料保存の実演説明・買い物上手体験などを発表していました。買い物上手体験では、曲がったきゅうりも味は一緒なのに割引されていてお得であること、消費期限が近づいている食品は割引されていてすぐ使用するならお得であることを、参加者に体験してもらいながら説明をしていました。



【6年生】

6年生は「防災問題」をテーマに、避難のコツを紹介する防災リーフレットや災害時にすぐに作れて活躍する手作りランタンを発表したりしていました。また、防災体験(救援物資を運ぶ体験)を通して、災害時には、みんなで協力すること、あるもので工夫することが大切であることを、参加者に体験してもらいながら説明をしていました。

令和8・9年度は、この取組をさらに前進させるべく、熊谷市教育委員会の委嘱を受け、「石原からはじまる！ つながる学び、広がる未来 ワクワク探求で、未来へアクション！SDGs×生活科・総合的な学習の時間」をテーマとして2年間の研究を行います。研究テーマを横断幕にして正門に掲げました。子供たちの成長とともに研究成果をぜひ楽しみにしてください。

